

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

グローバル・インベストメント・ビュー | 2022年11月

情報提供資料

金融政策の「転換」は間近とは言えない



足元における堅調な労働市場と高いインフレ率は、FED（米連邦準備制度）の金融引き締めスタンスの「転換」を裏付けているとまでは言えません。したがって、投資家は企業収益と市場の安定性を重視し、リスク資産には慎重であるべきであると考えます。

投資の着目点



引き続き脚光を浴びる債券

経済成長の鈍化と地政学的緊張が続いています。このような環境下、米国国債は経済成長圧力からポートフォリオを保護する可能性があります。投資家は積極的なスタンスを維持する必要があるでしょう。また、欧州の一部市場にも投資機会があるとみています。



クレジットでは「質」を重視

全般的に警戒感が強まる中、ファンダメンタルズが良好な企業の高格付けクレジットに焦点を当てるべきと考えます。我々は欧州より米国の質の高い銘柄を選好しており、低格付け債の見直しには懐疑的な見方を持っています。



企業収益への圧力

企業の投入コストは高く、また消費者需要が弱含んでいることから、我々は株式に対して慎重な姿勢を継続しています。投資家は、欧州よりも米国の相対的な回復力に注目すべきであり、ここでも、配当で株主に還元する力のある、景気循環に左右されにくい企業を選好すべきでしょう。



不均質な新興国市場の中の選択

中国などの国では短期的な課題が残るものの、新興国における長期的な消費の可能性は損なわれていないとみています。我々は、ブラジルなどのコモディティ輸出国や、強固な財務体質を持つ新興国の債券を選好しますが、総じて銘柄選択が重要と考えます。

続く航海、準備は抜かりなく



市場が利益の減少を十分に織り込んでいない中、中央銀行による金融引き締め政策はリスク資産の背景をより複雑にしています。そのため、特に質の低いクレジットには慎重なスタンスを維持しています。米国企業の低債務で質の高いクレジットや、新興国の厳選されたクレジットは、良好なパフォーマンスを示すと思われます。一方、米国国債については、経済成長への懸念から中立を維持しつつ、機動的に対応すべきでしょう。同時に、投資家は流動性と金融の安定性に関するリスクに注意する必要があるとみています。このため、インフレ調整後のリターンを得るためには分散投資のスタンスが必要となりますが、全般的に質の高い資産に向かう傾向にあります。

当資料のご利用に当たっての注意事項等

- ・ 当資料は、情報提供を目的としてアムンディ・アセットマネジメントの作成した資料をもとに、アムンディ・ジャパン株式会社が翻訳した資料であり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ・ 当資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会